

単一接続に対する要求ロギングの開始

何百人もの他のユーザが接続する可能性のあるライブ・データベースで問題点をデバッグしようとしている状況では、特定の接続に対する要求ロギングを使用すると非常に便利です。

単一の接続に対する要求ロギングを使用するには、データベースの要求ロギングを先に有効にする必要があります。データベース・サーバの起動時に `-zr` オプションを指定するか、または以下の文を実行できます。

```
CALL sa_server_option( 'RequestLogging', ALL )
```

以下のコマンドを使用すると、要求ロギングをフィルタリングして、特定の接続に対する要求だけを含めることができます。

```
CALL sa_server_option( 'RequestFilterConn', connection-id )
```

接続 ID は、`sa_conn_info()` を使用して取得するか、または Sybase Central から取得できます。

`CALL sa_server_option('RequestLogging', None)` を実行するか、サーバをシャットダウンすると、要求ロギングのフィルタリングを無効にすることができます。

明示的な要求ロギング・ログ・ファイル(`-zo` データベース・サーバ・オプション)を使用してサーバを起動しなかった場合は、`CALL sa_server_option('RequestLogFile', request-log-file-name)` の呼び出しによって、ロギングを開始する前にログ・ファイルを指定できます。